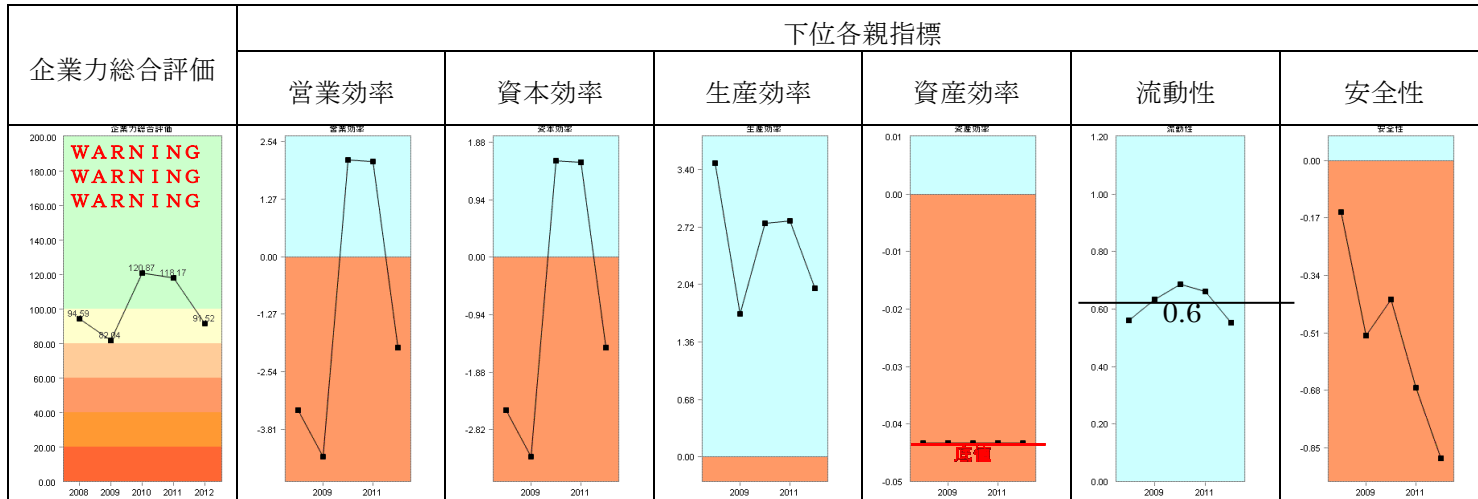
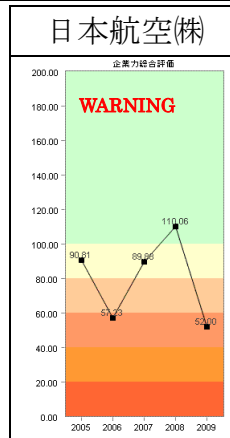


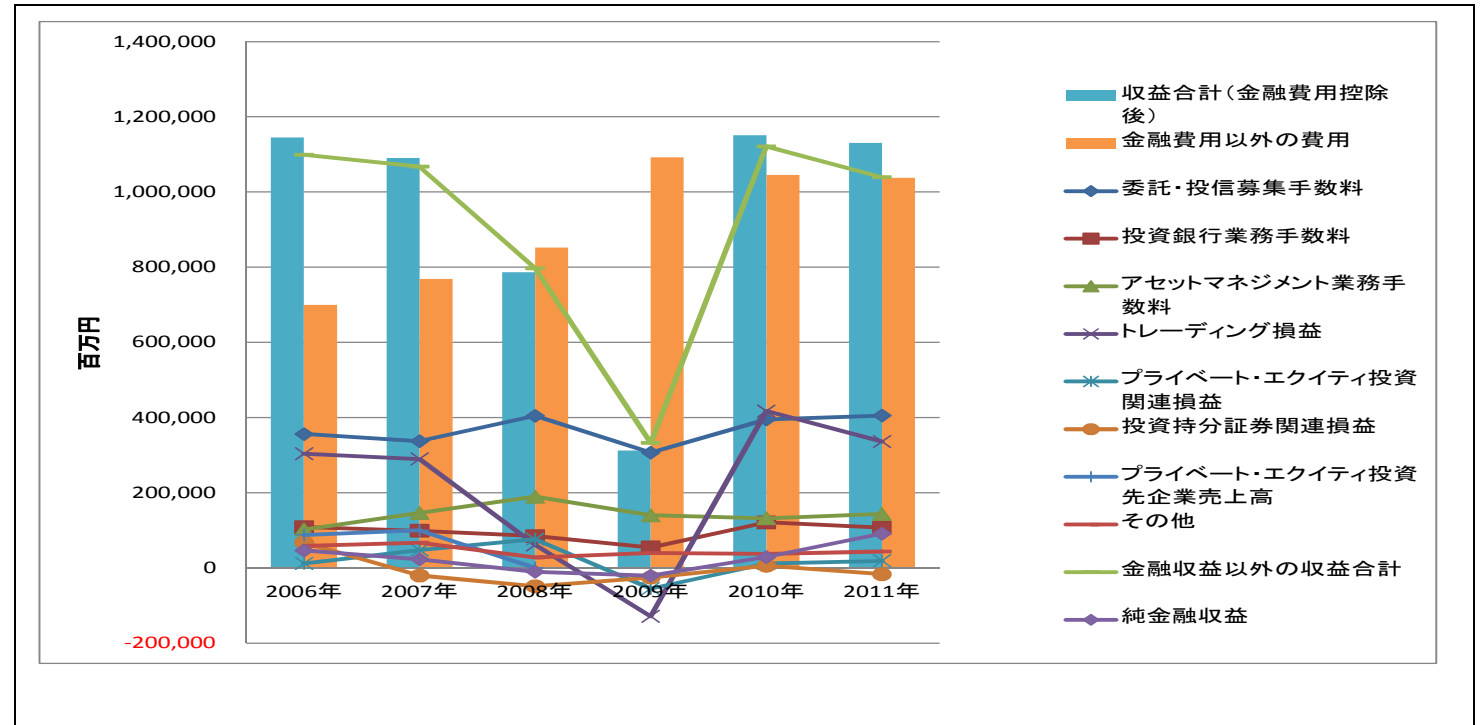
今回は、野村ホールディングス株式会社を分析しました。金融は資本主義を支える道具ですから、とても大切な存在。日本の金融を支える野村ホールディングス(株)はどのようになっているのでしょうか。(最新2012年のみ2011年9月までの半期決算のデータです。)



企業力総合評価は、黄信号領域に嵌りながら、乱高下しています。そして、その乱高下の緩衝材がないように思えます。総合評価は、日本航空に似ています。更に、赤いWARNINGが3つついていきますので、94.59→82.04→120.87→118.17→91.52と青信号領域か黄信号領域に見えますが、実際は60点以下の厳しい状況を示しています。営業効率(儲かるか)資本効率(資本の利用度)は2008年、2009年、2012年が赤信号に大きく嵌っています。営業効率、資本効率の形状と企業力総合評価のそれは一致します。これは何を意味するのでしょうか。「乱高下を支える支柱」がないことを示します。生産効率(人の利用度)は青信号ながら悪化トレンドです。資産効率(資産の利用度)は赤信号領域で底値です。流動性(短期資金繰り)は青信号領域です。ただ、天井値は3.5ですので、まあまあですね。安全性(長期資金繰り)は赤信号領域を悪化トレンドです。流動性や安全性など財務が、乱高下を支えることが出来ないでいます。それでは、営業効率の基礎データを見ていきましょう。



単位：百万円	2006年	2007年	2008年	2009年	2010年	2011年
委託・投信募集手数料	356,325	337,458	404,659	306,803	395,083	405,463
投資銀行業務手数料	108,819	99,276	85,096	54,953	121,254	107,005
アセットマネジメント業務手数料	102,667	145,977	189,712	140,166	132,249	143,939
トレーディング損益	304,223	290,008	61,720	-128,339	417,424	336,503
プライベート・エクイティ投資関連損益	12,328	47,590	76,505	-54,791	11,906	19,292
投資持分証券関連損益	67,702	-20,103	-48,695	-25,500	6,042	-16,677
プライベート・エクイティ投資先企業売上高	88,210	100,126				
その他	58,753	67,425	28,185	39,863	37,483	43,864
金融収益以外の収益合計	1,099,027	1,067,757	797,182	333,155	1,121,441	1,039,389
純金融収益	46,623	23,344	-9,925	-20,528	29,381	91,309
収益合計(金融費用控除後)	1,145,650	1,091,101	787,257	312,627	1,150,822	1,130,698
金融費用以外の費用	700,050	769,343	851,845	1,092,892	1,045,575	1,037,443



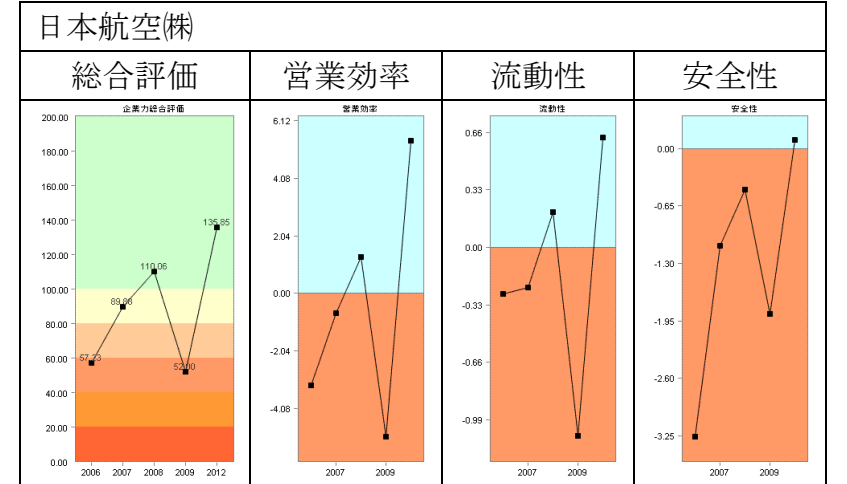
収益合計が青い棒グラフ、費用がオレンジの棒グラフです。収益の変動が大きいですね。これを生みだしているのがトレーディング損益(市場取引を短期的に繰り返して利益を追求するトレーディング取引による損益①金融先物取引所上場の先物・オプション取引②ヘッジ目的で行う債券③内外CP、CD、貸付債権信託の受益権証券の取得または譲渡④FRA、FXA⑤先物外国為替取引⑥金利スワップ、通貨スワップ取引⑦非上場オプション取引⑧有価証券店頭デリバティブ)です。乱高下が激しく2009年にはマイナスになっています。トレーディング損益は、海外の金融破たんなどの影響がダイレクトに出ますが、売上ボリュームが高い為、このような結果になります。トレーディング損益は、大きな収益になる半面、大きな損失を生みます。

総合評価が良く似た日本航空(株)は、見事V字回復したことを最後に付け加えます。

2012年は第3四半期のデータを入れました。2009年の52.00ポイントから135.85ポイントへV字回復しています。(2011~2012年はデータを見つけられませんでした)

まとめ

今回取り上げた野村ホールディングス(株)は資本主義を金融から支える会社です。それが、トレーディング損益に振り回されて厳しい局面を迎えています。日本航空(株)のV字回復をみると、野村ホールディングス(株)に同じ軌跡を辿って欲しいと思うのは、私だけではないでしょう。



編集後記

SPLENDID21に関するお問合せは下記までお願いいたします。

〒840-0015 佐賀県佐賀市木原二丁目6番5号

税理士法人 諸井会計

tel 0952-23-5106 fax 0952-22-2888

✉ info@moroi.co.jp URL <http://www.moroi.co.jp/>